

INVOICE

HP RELEASE

2025年1月7日

金融総合専門紙『ニッキン』に弊社一括請求サービスに関する記事が掲載されました

株式会社インボイス（代表取締役：加茂 正巳 本社：東京都千代田区）は、弊社が提供する一括請求サービスが、金融総合専門紙「ニッキン」2024年12月20日号に掲載されたことをお知らせいたします。

■ 記事概要

タイトル：「金融界 一括請求サービスに関心 地公体納付書の扱い変更で」

■ 掲載内容

本記事では、金融機関における地方公共団体の税・公金収納業務取扱いの変更や終了の動きを背景に、代替サービスとなり得る「一括請求サービス」への関心について解説され、弊社の公共料金一括請求サービスが紹介されました。

■ サービス概要

「OneVoice公共」（公共料金一括請求サービス）は、毎月バラバラと拠点に届く水道・電気・ガスなどの請求を取り纏め、支払代行し、お客様には月1回、立替金精算書とインボイス制度に対応した適格請求書を電子発行するサービスです。

本件、金融機関窓口への納付書持ち込みの代替サービスとして、特に全国に拠点を多く持つ企業様等に注目され、大幅な業務効率化に貢献しています。

OneVoice公共：<https://onevoice.invoice.ne.jp/>

INVOICE

HP RELEASE

掲載記事

金融界 一括請求サービスに関心 地公体納付書の扱い変更で

金融界で税・公金収納業務の見直しが進んでいる。この一環で、一部地公体団体の納付書による取り扱い変更や終了する動きが広がる。取引先の利便性を確保するため、代替サービスとなり得る請求書一括サービスへの関心が高まっている。

直近では、みずほ銀行は11月1日以降、店舗で受け付ける地公体の税・公金収納業務は、同行と契約のある地公体のみとし、取り扱い終了する自治体もある。七十七銀行は25年4月から、取扱件数が減少していた。

25年3月末で一部地公体の納付書の取り扱いを終了。口座振替の納業務で一定の手数料を徴収。口座振替については25年3月引落分の複数拠点にそれぞれをもち、終了する。こうした情勢を受け、複数の請求書を一

つにまとめる一括請求サービスをワンストップで代行サービスを提供する企業への引き合いが増えている。企業向けに公共料金と通信料金など一括請求サービスを提供しているインボイス（東京都）は、企業向けにそれぞれを

え金額算書の発行まで社とビジネスマッチング契約を結ぶ。契約金額の取引先に対し、サービス紹介を依頼されるケースは増加傾向。そのため、24年4月にアライアンス営業部を立ち上げるなど体制を強化した。11月に実施したある金融機関向けの内部研修会には、行員約40人が参加。早速、同金融機関取引先

2社に対してサービスを紹介することが決まった。全国に拠点や不動産を持つ企業は特に、税・公金収納業務の見直しの影響を受ける。各金融機関では取納サービスの見直しと並行して、行員向けの代替サービス研修を強化していくと見られる。

日本金融通信社が記事利用を許諾しています
ニッキン 2024年12月20日号17面

本件に関するお問い合わせ先

株式会社インボイス 営業推進部 伊藤
TEL : 03-5275-7241